

2023 年度

明星大学大学院教育学研究科教育学専攻（通信教育課程）

博士前期課程第 1 期入学試験

「小論文」

共通問題（教育学全般）

2022 年 8 月スイス・ジュネーブの国連欧州本部で、日本政府は「障害者の権利に関する条約」（以下、障害者権利条約）に関する初めての審査を受けた。障害者権利条約とは、2006 年に国連が採択し、2014 年に日本が批准をした障害のある人の権利を保障するための国際条約である。9 月国連の障害者権利委員会から日本政府に勧告が出された。勧告には、「インクルーシブ教育の権利を保障すべき」との記述がある。

しかしながら日本においては特別支援学校や特別支援学級がある。この事実と今回の勧告について思うところを論じなさい。

選択問題

問題A～Lのうち1問を選択し、答えなさい。

【問題 A （歴史・理論）】

近年の学校教育における「教育的関係」の変化について、具体的な例や視点を明示した上で論じなさい。

【問題 B （実践・評価）】

平成29・30年に改訂された学習指導要領のキーワードである「社会に開かれた教育課程」の考え方を説明した上で、その意義について論じなさい。

【問題 C （情報教育）】

学習者が情報活用能力を体系的に身につけていくために、教師に求められる指導力と役割について説明しなさい。

【問題 D （教育社会学）】

学校教育における「格差・不平等」について、具体例を挙げて社会学的に論じなさい。

【問題 E （教育心理学）】

プログラム学習、発見学習、有意味受容学習、観察学習、プロジェクト型学習のうち2つ以上の学習指導法を選択し、心理学の学習理論に基づいて、それらの特徴について論述しなさい。

【問題 F （教育行財政）】

令和4年5月の教育公務員特例法及び教育職員免許法の改正により、教員免許更新制が廃止され、代わりに、新しい研修制度が導入されることとなったが、この新しい研修制度の仕組みについて概要を取りまとめるとともに、新しい研修制度の意義と課題についてあなたの所見を述べなさい。

【問題 G (児童家庭福祉)】

こども施策に関する基本理念と国の責務などを明らかにするとともに、こども施策の基本となる事項を定めたこども基本法（2022 年 6 月 22 日公布、2023 年 4 月 1 日施行）が国会において成立した。その一方で本法では、子どもからの苦情について、子どもにやさしい方法による受理・調査・対応を行うための機関の設置（こどもコミッショナー／オンブズパーソン）については、見送られている。こどもコミッショナーやオンブズパーソンが、なぜ必要であるか、子どもの権利条約と関連づけながら、論述しなさい。

【問題 H (保育)】

2020 年度から 2022 年度にかけての新型コロナウイルス感染拡大の中で、子育て家庭には、どのような影響があり、子どもや保護者に対して、どのような支援が求められてきたかについて論じなさい。

【問題 I (音楽教育)】

保育所保育指針の領域表現に「歌を歌ったり、簡単な手遊びや全身を使う遊びを楽しんだりする」とある。このような活動を行う際に用いる適切な歌唱教材の選択について、以下の 5 つの観点から、あなたの考えるところを述べなさい。

①歌詞 ②音域 ③旋律 ④リズム ⑤和声的なものであるのか、旋法的なものであるのか。

【問題 J (児童文化)】

大正期における児童文学の成立状況を具体的に説明しなさい。

【問題 K (障害児者の学習・発達支援)】

学校における「合理的配慮」の考え方を説明し、「過度の負担」の考え方と、様々な「合意形成」の在り方について事例を挙げて説明しなさい。

【問題 L （障害児者自立支援）】

SST（ソーシャルスキルトレーニング）は、知的障害児や発達障害児の学校・社会生活面の適応に関し有効なことから、特別支援学級や特別支援学校における自立活動として取り入れられているが、一方でソーシャルスキル習得が苦手な児童生徒、特に ASD（自閉スペクトラム症）児にとっては、元々の特性を修正しなければならない、本人にとってストレスとなるので、むしろ（周囲からの）合理的配慮を重視すべきであり、下記の参考資料に示すように、行うべきではないとの意見もある。

社会適応、合理的配慮という諸点を考慮し、SST に関するあなたの考えを、できるだけ論理的に論じなさい。

参考：社会性の面で発達が遅れているということを常に覚えておかなければなりません。

形式にとらわれた従来の理論に沿って、社会性や社交スキルを指導すれば、子どもが学び、成長する機会をますます制限してしまうことになります。親や教師など自閉症スペクトラムと関わる人は、社交的でない人を社交的にすることはできないということを肝に銘じておきましょう

ーテンプル・グランディン『自閉症感覚』NHK 出版よりー

2023 年度

明星大学大学院教育学研究科教育学専攻（通信教育課程）

博士前期課程第 2 期入学試験

「小論文」

共通問題 （教育学全般）

文部科学省が 2012 年に出した報告「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」においては、インクルーシブ教育システムでは可能な限り障害のある子どもとない子どもが共に学ぶことを目指すべき、とされている。インクルーシブ教育を実現するために現在、必要だと思うことを現状の教育課題と合わせて論じなさい。

選択問題

問題 A～L のうち 1 問を選択し、答えなさい。

【問題 A （歴史・理論）】

「主体的な学び」に関わる日本教育史の事例を 1 つ挙げ、今日的な意義を論じなさい。

【問題 B （実践・評価）】

平成 29・30 年改訂の学習指導要領に示されたカリキュラム・マネジメントの 3 つの側面について、学校教育の質の向上における意義や取組上の配慮点をまとめなさい。

【問題 C （情報教育）】

初等中等教育において学習者が一人一台端末の操作に慣れてきた状況において、「情報活用能力」を育成する授業設計の留意点を 2 つ以上説明しなさい。

【問題 D （教育社会学）】

友人関係・学力問題・就職のどれかについて、教育社会学の観点から論じなさい。

【問題 E （教育心理学）】

学習方略とは、学習者が主体的に用いる効果的な学習方法のことである。学習者の内的な側面（認知的側面）と外的な側面（学習環境）から、学習方略について論じなさい。

【問題 F （教育行財政）】

学校における部活動は、学習指導要領上どのように位置付けられているか、また、学校における働き方改革に伴い、平成30年スポーツ庁・文化庁が策定した部活動の在り方に関する総合的ガイドラインにおける「適切な休養日等の設定」の具体的内容はどのようなものか記述するとともに、今後の部活動の在り方についてあなたの所見を述べなさい。

【問題 G （児童家庭福祉）】

2022年8月にスイスのジュネーブにおいて障害者権利委員会から日本政府へ勧告（総括所見）が示された。本勧告をふまえつつ、わが国のインクルーシブ教育システムの現状と課題について、論述しなさい。

【問題 H （保育）】

0歳児後半から2歳後半にかけての言葉の発達と保育における援助のあり方について論じなさい。

【問題 I （音楽教育）】

教育および保育における身体運動を活用した音楽指導について、基本的な考え方や指導法等に分けて述べなさい。

【問題 J （児童文化）】

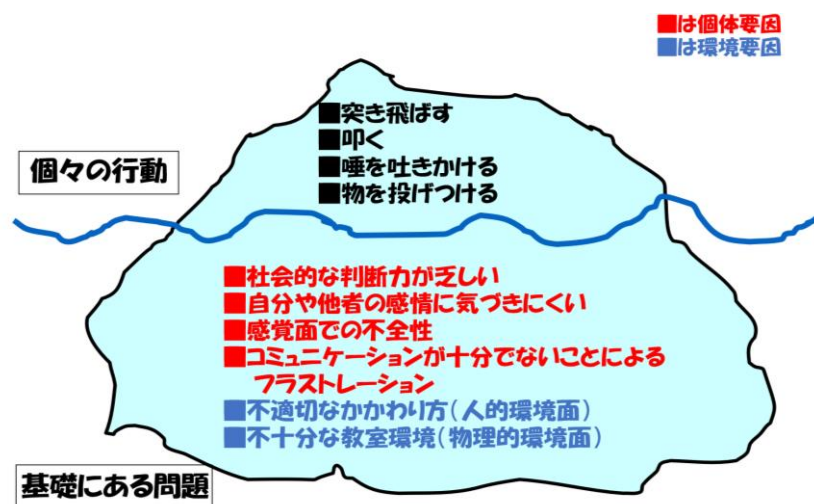
戦後の新たな児童文学において、成立したときの状況と目標としていた理念はどのようなものか、具体的に説明しなさい。

【問題 K (障害児者の学習・発達支援)】

2022 年 8 月、国連の障害者権利委員会はスイスで障害者権利条約の日本における実施状況について審査を行い、その結果が同年 9 月 9 日に総括所見として公表された。第 24 条教育に関して「日本のインクルーシブ教育システムには不十分な部分がある」といくつかの指摘を行っている。その指摘の中から 2 つをあげ、実行可能だと考えられる改善の方法について持論を述べなさい。

【問題 L (障害児者自立支援)】

不適応（問題）行動に関する冰山モデル



上記の図は子どもの不適応（問題）行動に関する冰山モデルである。このモデルから読み取れる課題及び支援の手立てとして、重要な点を述べなさい。

2023 年度

明星大学大学院教育学研究科教育学専攻（通信教育課程）

博士後期課程入学試験問題

「小論文」

問題 1～12 のうち 2 問を選択し、答えなさい。

【問題 1 （歴史・理論）】

自身の研究テーマを明示し、そのテーマの教育思想史上の位置づけについて論じなさい。

【問題 2 （実践・評価）】

カリキュラム論におけるカリキュラムの類型の概略について説明するとともに、それらを踏まえて、これからの時代における我が国の初等中等教育のカリキュラムの在り方について考察しなさい。

【問題 3 （情報教育）】

学習者中心の教育を進める上で教師の役割が変わりつつあります。このような状況における情報活用能力の重要性と、授業実践の課題について社会構成主義の観点から考察し、説明しなさい。

【問題 4 （教育社会学）】

教育社会学の研究知見を、教育実践または教育政策にどのように生かせるか。教育社会学の理論および関連する先行研究の内容を具体的に挙げ、その意義と課題を論じなさい。

【問題 5 (教育心理学)】

情報処理モデルに基づいた学習理論と状況的学習論に基づいた学習理論について、各々の特徴を比較しながら論じなさい。

【問題 6 (教育行財政)】

令和 3 年、議員立法による「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する法律」が成立し、教育職員等による児童生徒性暴力等の防止に関する措置が定められるとともに、児童生徒性暴力等を行ったことにより免許状が失効した者についての再免許授与の特例が定められた。児童生徒性暴力等の防止のために学校としてどのような措置を講ずべきか具体的に明らかにするとともに、児童性暴力等を行い免許状が失効した教育職員等の再免許授与の取扱いがどのように改正されたか述べなさい。

【問題 7 (保育)】

乳幼児の育ちをめぐる保育所と家庭との連携のあり方について、具体的な事例を挙げ、論じなさい。

【問題 8 (音楽教育)】

教育および保育における音楽の ICT 化の取り組みの現状と課題について、考えるところを述べなさい。

【問題 9 (児童家庭福祉)】

2022 年 2 月に社会保障審議会児童部会社会的養育専門委員会より示された報告書によれば、「全ての子どもについて、特に養育環境を左右する重大な決定に際し、子どもの意見・意向を聴き、子どもが参画する中で、子どもの最善の利益を考えて意思決定が成されることが必要である」ことが示された。子どもの権利条約と関連づけながら、子どもの意見・意向表明を支援する活動を行う上で生じる課題や支援における配慮事項について、論述しなさい。

【問題 10 (児童文化)】

新美南吉の作品「ごん狐」について作品の背景や成立状況を説明し、さらに作品分析をなさい。

【問題 11 (障害児者自立支援)】

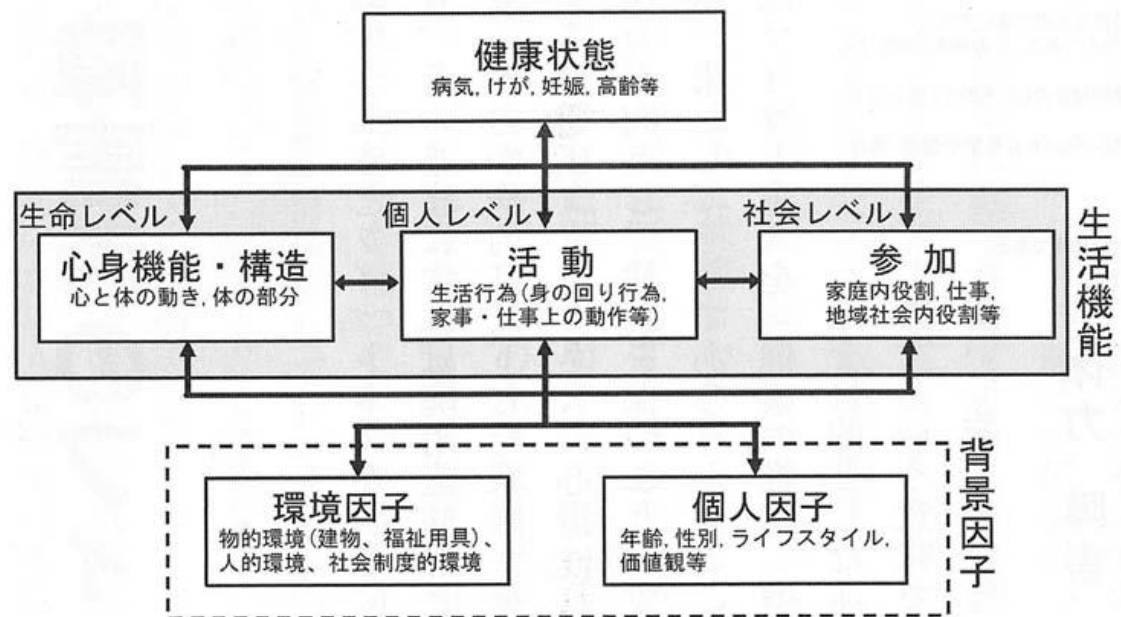


図 1. ICF (国際生活機能分類) の概略図

月刊「ノーマライゼーション 障害者の福祉」2009 年 8 月号 (第 29 巻 通巻 337 号) より引用

上記は ICF (国際生活機能分類) の概略図である。この図に照らして、博士課程において自身に取り組む研究が、どの構成要素 (複数でも可) に焦点化し、効果の検証或いは社会貢献を目指すものなのかを述べよ。

【問題 12 (小児保健)】

通常学級と特別支援学級の連携と交流に関する課題について、あなたの考えを述べなさい。

2023 年度

明星大学大学院教育学研究科教育学専攻（通信教育課程）

博士後期課程入学試験問題

「外国語（英語）」

以下の文章はデューイ著、『学校と社会』の一部です。問題1．～問題5．に答えなさい。

問題1．下線部 A を日本語に翻訳しなさい。

問題2．下線部 B を日本語に翻訳しなさい。

問題3．下線部 C を日本語に翻訳しなさい。

問題4．下線部 D を日本語に翻訳しなさい。

問題5．下線部 E を日本語に翻訳しなさい。

問題文の公開はしていません。

Dewey, John *The School and Society*, The University of Chicago Press, Chicago, 1899,
pp.35-36